



平成 28 年 4 月 29 日
九州地方整備局
9 時 0 0 分

【平成 28 年熊本地震対応】

平成 28 年熊本地震

緑川・白川等の被災・復旧状況（第 2 報）をまとめました。

- 平成 28 年熊本地震により、緑川、白川流域を中心に最大震度 7 を観測し、緑川、白川、菊池川の 3 河川で 172 箇所の被災が確認されています。
- このうち、堤防に深い亀裂が生じている箇所や、堤防が沈下変形する等の変状が比較的大きい 11 箇所について、被災の翌日（15 日）から順次、緊急復旧工事に着手しており、現在 2 箇所が完了しています。（4 月 28 日 17:00 時点）
- 早期の警戒体制を確立し、早めの水防活動や早めの避難に資するため、水防警報及び洪水予報の基準水位を暫定的に引き下げています。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 坂井 佑介

電話：092-471-6331（代表）

092-2511-9675（携帯）

平成28年熊本地震(最大震度7)における
白川・緑川等の被災及び復旧状況について
【第2報】

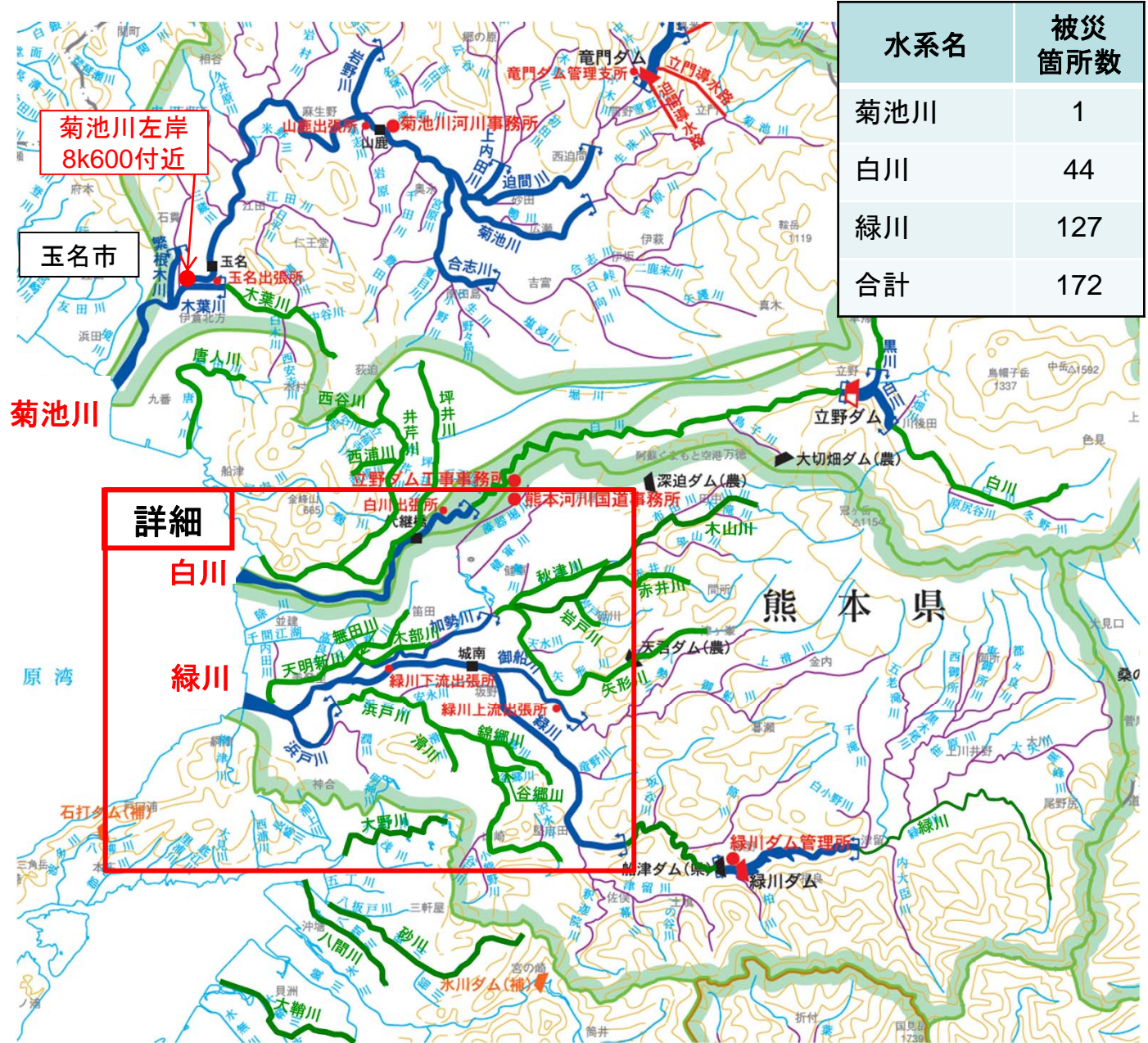
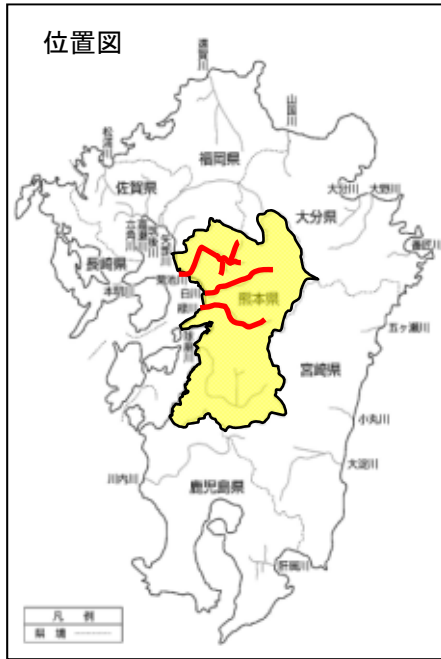
九州地方整備局 河川部

平成28年4月29日

24時間体制での施工状況 (4/21)
(緑川左岸10k800)



1. 主な被災河川の位置



水系名	被災箇所数
菊池川	1
白川	44
緑川	127
合計	172

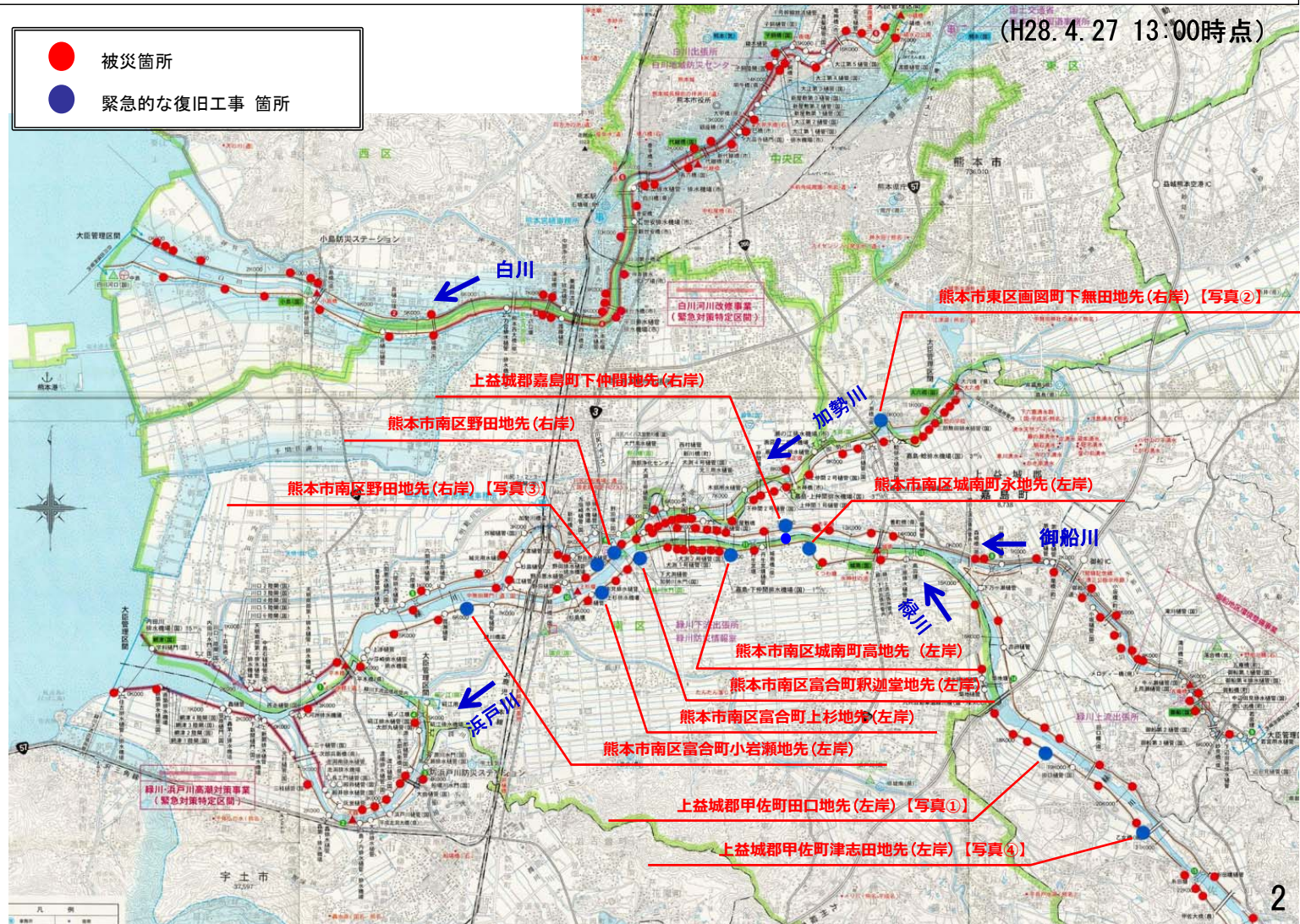
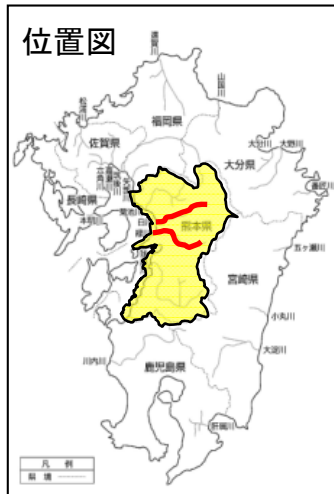
2. 緑川、白川の対応状況（河川：直轄管理区間）

＜緑川水系（直轄管理区間）＞

- ・4河川127箇所において堤防天端のひび割れや堤体の沈下等の変状を確認。
- ・応急対策が必要な箇所全てで実施済み。また堤防の変状が比較的大きい11箇所について、緊急的な復旧工事に着手。

＜白川水系（直轄管理区間）＞

- ・1河川44箇所において堤防天端のひび割れや特殊堤の損傷等を確認。
- ・全ての箇所で応急対策を実施済み。



3. 河川堤防被災からの復旧ステップ

STEP 1

発災直後

点検
応急対策



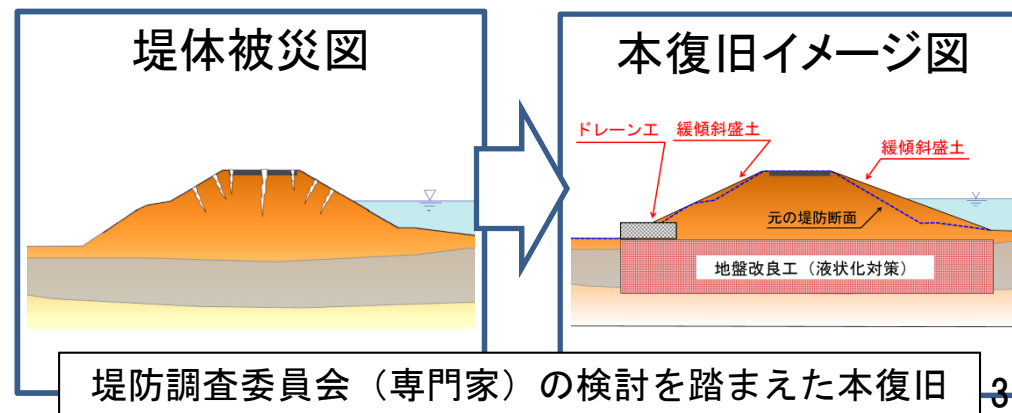
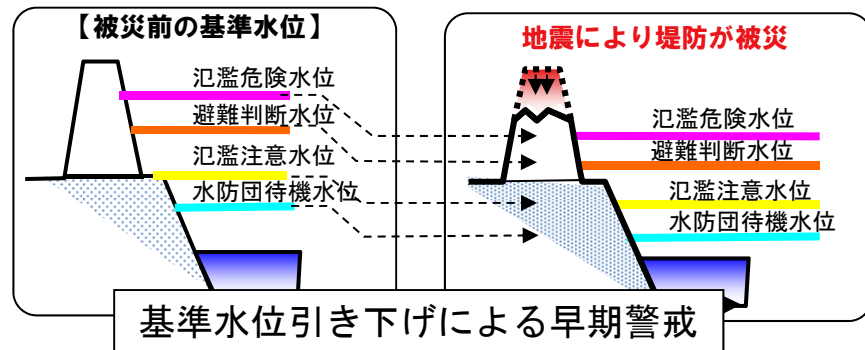
STEP 2

梅雨期前

緊急的な
復旧工事



STEP 3 早期警戒、本復旧



3-1. 被災堤防の応急対策【完了】

緑川水系、白川水系及び菊池川水系の172箇所の堤防等の被災のうち、比較的変状の小さな箇所については、ひび割れの補修などの応急対策を完了しています。

(白川 左岸8k700m : 熊本市)



(白川 左岸13k000m : 熊本市)



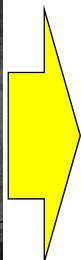
(白川 右岸9k400m : 熊本市)



(緑川 左岸16k400m : 熊本市)



(白川 左岸11k500m : 熊本市)



(緑川 右岸23k000m : 甲佐町)



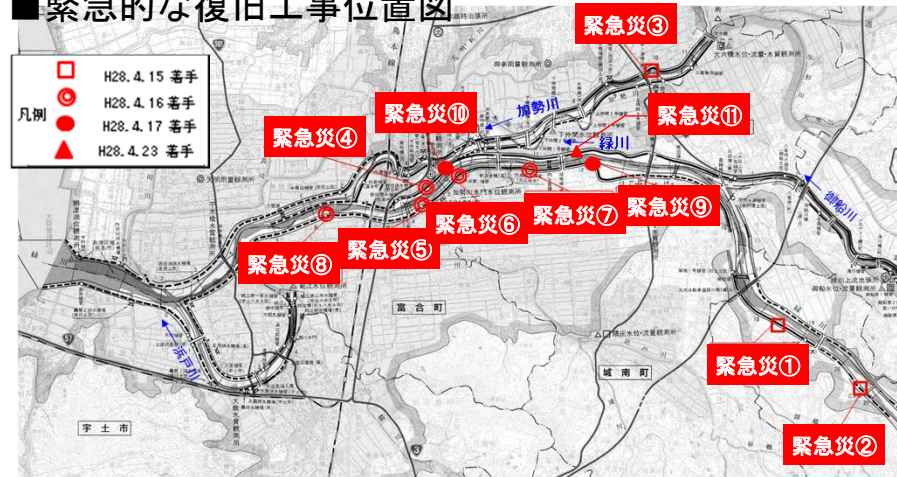
3-2. 緊急的な復旧工事

・堤体の変状が比較的大きい緑川水系緑川・加勢川の11箇所については、24時間態勢で緊急的な復旧工事を実施しており、4月29日までに2箇所を完了し、残る9箇所を鋭意施工中です。

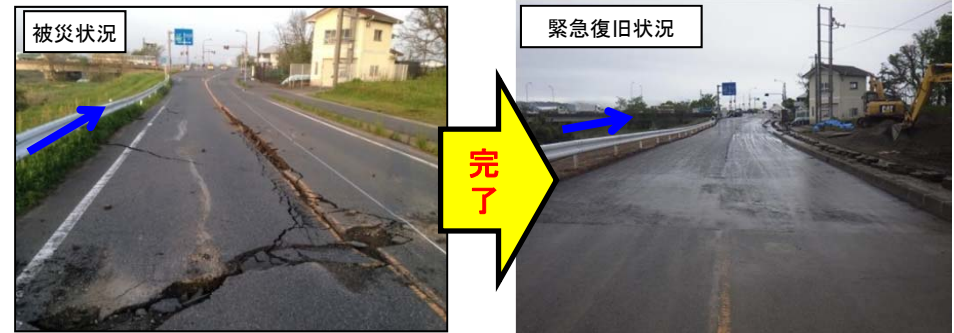


3-3. 緑川の緊急的な復旧工事の状況（1）

緊急的な復旧工事位置図



緊急災③ 4/27 14:15完了 加勢川右岸 9k800m (熊本市)



緊急災④ 緑川右岸 8k900付近 (熊本市)



緊急災① 緑川左岸 18k400付近 (熊本市)



緊急災② 4/23 1:00完了 緑川左岸 20k700付近 (熊本市)

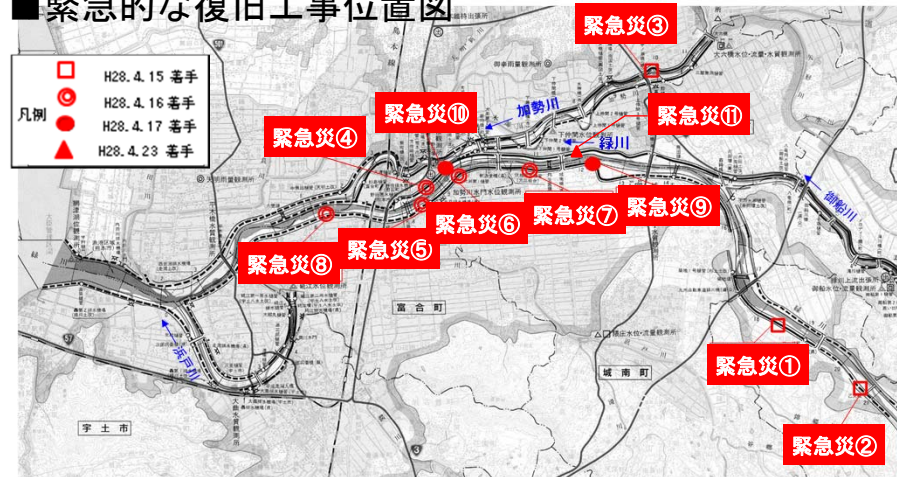


緊急災⑤ 緑川左岸 8k400付近 (熊本市)



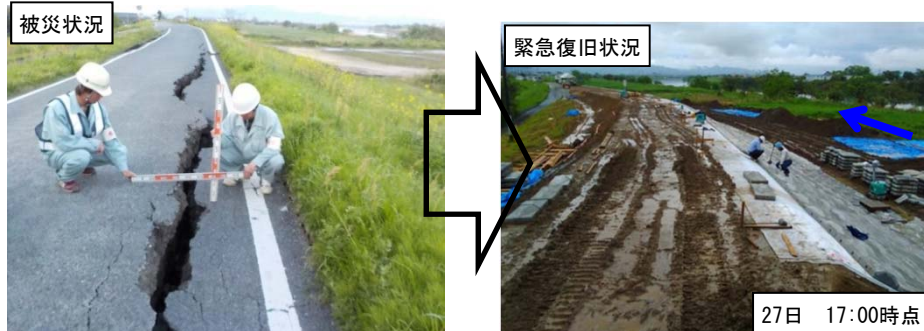
3-4. 緑川の緊急的な復旧工事の状況（2）

緊急的な復旧工事位置図



緊急災⑥

緑川左岸 9 k 3 0 0 付近（熊本市）



緊急災⑦ 緑川左岸 1 0 k 9 0 0 付近（熊本市）



緊急災⑧

緑川左岸 6 k 3 0 0 付近（熊本市）



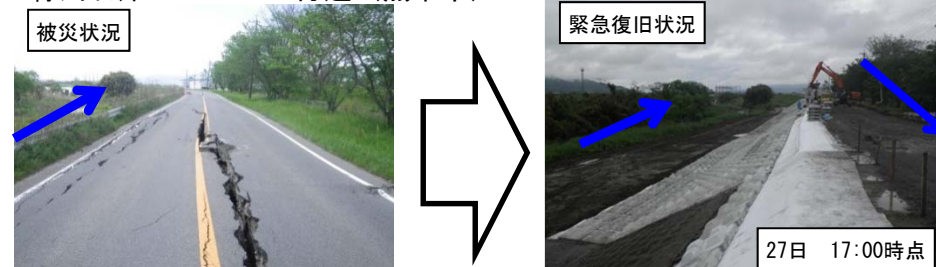
緊急災⑨

緑川左岸 1 2 k 4 0 0 付近（熊本市）

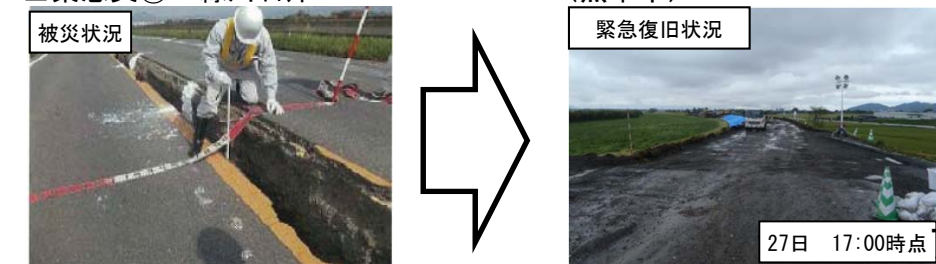


緊急災⑩

緑川右岸 9 k 2 0 0 付近（熊本市）



緊急災⑪ 緑川右岸 1 1 k 8 0 0 m（熊本市）



4. 緑川ダム の被災状況

- ・ 国土交通省が管理する緑川ダム(熊本県下益城郡美里町)では、脇ダム天端舗装の一部にひらきが発生しました。(4月26日に応急復旧完了)
- ・ 竜門ダム、松原ダム、下釜ダムで貯水池法面の小規模崩落等が発生しました。
- ・ いずれのダムも、ダム管理に支障はありません。

○位置図



■緑川ダムの被災状況



脇ダム天端舗装にひらき



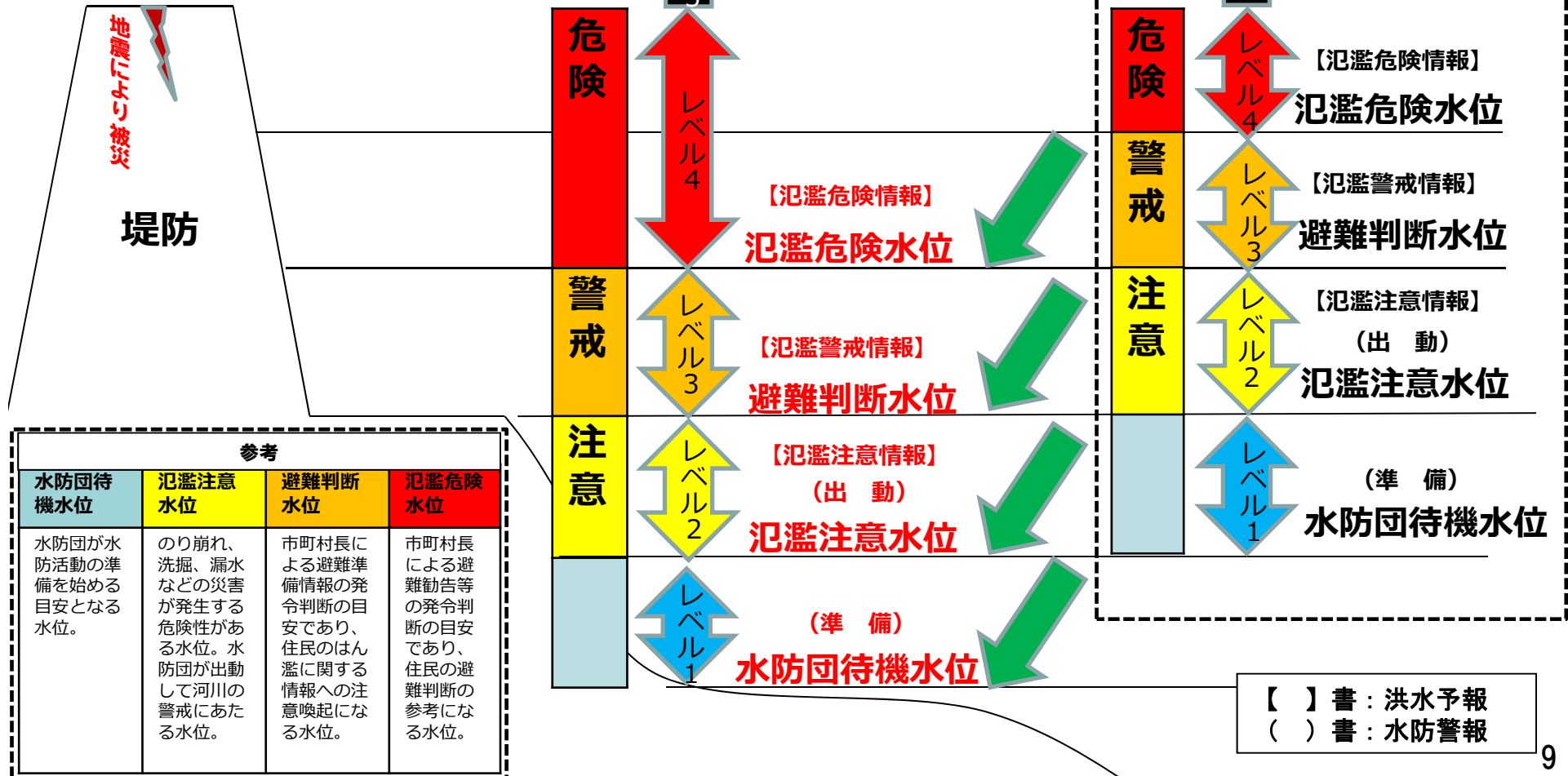
【国土技術政策総合研究所および土木研究所の専門家のコメント】

緑川ダム : 安全性への影響は小さいと考えられる。念のためひらきの深さについて確認し、必要な補修が必要である。

5. 水防警報、洪水予報の基準水位の暫定な引き下げ【4月28日から】

早期の警戒体制を確立し、早めの水防活動や早めの避難に資するため、水防警報及び洪水予報の基準水位を暫定的に引き下げます。

【被災を踏まえた暫定運用】



6. 専門家による調査状況

地震発生の翌日（4／15）には、高度な技術や専門的知識を有する専門家（TEC-DOCTOR、国総研、土研）が派遣され、被災現場の調査が行われるとともに、その結果を踏まえて技術的指導を頂きました。

■学識者（TEC-DOCTOR）

- ・安福 規之 教授（九州大学）
- ・石藏 良平 助教（九州大学）
- ・前田 健一 教授（名古屋工業大学）

■専門家

- ・国土交通省 国土技術政策総合研究所
河川研究部
- ・国立開発研究法人 土木研究所
地質・地盤研究グループ

■専門家



＜専門家による調査結果の報告＞

■学識者（TEC-DOCTOR）



専門家による調査状況
＜緑川水系加勢川＞



専門家による調査状況
＜緑川水系加勢川＞